

## ■分科会 D

「若者が参加したくなる仕掛けをデザインしよう」というテーマで、当団体インターン生・石黒奈保子のファシリテーションで進められました。参加者は男性5名、女性8名の13名。そのうち約半数の6名が大学生でした。石黒の「市民活動に興味のない学生にどのように市民活動の重要性やすばらしさを伝えていけばいいのか」「NPOの人たちから若者の活躍を求められるが、社会経験もなくスキルもない学生が何を期待されているのかわからない」という問いに、学生ボランティアと活動経験豊富なベテラン社会人から反対に鋭い質問を返される光景が見られ、「うっ・・・」と、言葉に詰まる様子に笑いが溢れる、手厳しくも明るく活発なやり取りが行われました。中でも「ボランティアはベンチャーと同じ。ベンチャーを起こす気概がなければ、ボランティアなんてできない!」というNPO団体代表の斬新な意見に学生のみならずベテラン社会人も「なるほど・・・」とうなる場面も。石黒は3月に行われる損保ジャパン、CSOラーニング終了式でこのイベントでの模様を発表する予定。



分科会D

『若者が参加したくなる仕掛けをデザインしよう』

～環境問題を若者たちの自分ごとにするためには？～

☆話題提供者 市民活動に関わる大学生☆

こんな課題に対して…



頭ではその問題の大切さを理解していても、自分にとって身近でないと、中々行動には移せないものです。若者にとっては「環境問題」もそんな問題なのかもしれません。

分科会Dでは、環境活動に関わっている大学生が中心となって、若者が環境問題を解決しようとする活動に参加しやすくなる仕掛けを考えます。